１７　給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

（１）給食の食べ残し量

	学　期	令和６年度		令和７年度	
		全体	１人当たり	全体	１人当たり
小学校	１学期	27,563.3kg	約2.70kg	26,340.2kg	約 2.66 kg
	２学期	29,300.7kg	約2.87kg	30,380.5kg	約 3.07 kg
	３学期	13,634.4kg	約1.34kg	16,431.5kg	約 1.66 kg
中学校	１学期	15,507.3kg	約2.81kg	13,794.6kg	約 2.58 kg
	２学期	19,167.6kg	約3.47kg	15,983.8kg	約 2.99 kg
	３学期	7,450.8kg	約1.35kg	7,796.5kg	約 1.46 kg

（２）食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、こどもたちによって様々ですが、理由の１つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立は食べ残しが多くなる傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任や栄養士による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。